

Title	ディズニー映画の歌詞吹き替えに見るインド文化
Author(s)	里坊, 詩音
Citation	印度民俗研究. 2018, 17, p. 19-41
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/68345">https://hdl.handle.net/11094/68345</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

ディズニー映画の歌詞吹き替えに見る  
インド文化

里坊 詩音

## はじめに

筆者が子供の頃から好んで鑑賞してきたディズニー映画は、そのほとんどが日本語に吹き替えられた日本語吹き替え版のビデオテープに収録されたものであった。VHS ソフトの場合、本編が終了すると背景は黒い画面に切り替わり「声の出演」の一覧が映される。『リトル・マーメイド』のアリエルや、『眠れる森の美女』のオーロラ姫の声は「すずきまゆみ」、『美女と野獣』のベルは「伊東恵里」の声というのが当たり前であった。そのため、オリジナル英語版の声を担当する Jodi Benson は、筆者にとって、「第二のアリエル」にすぎなかった。

インドでもディズニー映画のヒンディー語吹替版がある。それらは主にインドで発売されている DVD や、ディズニー・チャンネル・インディアという有料衛星放送チャンネル<sup>1</sup>の長編映画放送枠で見ることができる。最近ではボリウツドの人気俳優や女優が吹き替え声優を担当することも増え、インドにおける人気の高さが伺える。さらに、『アラジン』(1992)では主人公・アラジンの歌唱部分をインドの映画作品”3idiots”の挿入歌などを担当した Sonu Nigam が吹き替えており、アラジンとジャスミン王女が魔法のカーペットで空を飛ぶシーンの情緒を一層豊かに盛り上げている。

そこで本稿では、ディズニー映画ならではの魅力のひとつである「歌」に焦点を当て、オリジナル英語版、日本語吹き替え版、ヒンディー語吹き替え版を比較し<sup>2</sup>、翻訳の内容だけでなく楽曲の旋律やリズムなどの音楽的要素との関係を論じる。なお、分析対象とする楽曲を選ぶ際は、以下の三点を基準とした。

---

<sup>1</sup> 2004年12月17日に現地法人ウォルト・ディズニー・カンパニーの事業の内のひとつとして開局。

<sup>2</sup> ディズニー映画のヒンディー語吹き替え版の中には、DVD ソフト化されずに「ディズニー・チャンネル」という有料衛星放送チャンネルでのみ放映されたものが多く存在する。そのため資料がきわめて入手しづらく、やむなく動画投稿サイトに投稿された映像を主な資料とすることになった。

- ①オリジナル英語版、ヒンディー語吹き替え版、日本語吹き替え版の三つすべての音源が存在し、現時点で入手可能であること
- ②台詞や歌詞が鮮明で、聞き取り可能であること
- ③吹き替え翻訳された歌詞を比較した際に何かしらの相違点が存在すること

分析対象楽曲の歌詞表記に関しては、

(英語オリジナル版) ……  
 (日本語吹き替え版) ……  
 (ヒンディー語吹き替え版) ……

の順とし、同じ旋律に相当する部分に区切って表記する。また、文中に登場する作品名などの固有名詞は公式ホームページを参照し、掲載されている正式名称に準じて表記する。

本論文で分析対象とした楽曲は、

♪*Belle* 『美女と野獣』(1991)より<sup>3</sup>

♪*Be our guest* 『美女と野獣』より<sup>4</sup>

♪*Mother knows best (Reprise)* 『塔の上のラプンツェル』(2010)より<sup>5</sup>

<sup>3</sup> ♪*Belle* では、読書を愛しおとぎ話の世界を夢見るベルと、そんなベルを変わり者扱いする村の人々が次々にメインボーカルを交代しながら歌う。村の「日常」を紹介するとともに、これから起きる「非日常」をほのめかす役割を担っている。

<sup>4</sup> ♪*Be our guest* は物語の中盤で歌われる楽曲であるが、城に閉じ込められたベルは、城主である野獣には内緒で召使いたちからディナーのもてなしを受ける。晩餐会の豪華さを表現するため、この作品の中でもっとも明るい曲調をとり、場面を盛り上げている。

<sup>5</sup> ♪*Mother knows best (Reprise)* は本稿で分析対象の5楽曲の中で唯一悪役キャラクターが歌う楽曲である。長い間、塔の中に閉じ込められてきた主人公・ラプンツェルは、脱出に手を貸してくれた指名手配の泥棒フリンと恋に落ちる。ラプンツェルが塔の中に閉じ込められていたのは、母親マザー・ゴートルが言うような危険からではなく、彼女の髪がもつ若返りの力を誰にも盗まれない

♪*Part of your world* 『リトル・マーメイド』(1989)より<sup>6</sup>

♪*A Dream is a wish your heart makes* 『シンデレラ』(1950)より<sup>7</sup>

の五曲である。以上の五曲を対象に吹き替え歌詞を分析することで、言語ごとにどのような相違点があるかを考察していく。

### 旋律と歌詞翻訳

まず、♪*Belle* を例にとって、歌詞翻訳と旋律との関係について考察する。ヒンディー語は原則的に〈主語＋目的語＋動詞〉の語順をとるが、ヒンディー語吹き替え版の歌詞では動詞が冒頭にくる、あるいは主語が最後にくるなどの倒置が頻繁に起こっていることがわかった。♪*Belle* における倒置が起こっている文章(動詞のない副詞句や形容詞句、名詞句で構成された歌詞をのぞく)を数えると、78 に分けた歌詞のうち 34 の文で倒置が起こっていた。また、さらにその中から台詞ではなく歌唱部分だけに絞ると 44 のうち 33 の文で倒置が起こっていることから、台詞部分よりも圧倒的に歌唱部分において倒置が起こりやすいことがわかる。なぜヒンディー語吹き替え版の歌唱部分ではこのように倒置が起こりやすいのか、その原因を次に探る。

(♪*Belle* 3分39秒～3分54秒 ガストン歌唱部分)

Right from the moment when I met her, saw her

一目みたその時から

जबसे निगाहें मेरी उस पर पड़ी हैं

---

ようにするためであり、その力を失いかけた焦りによってマザー・ゴートルの本性がうかがえる歌詞となっている。

<sup>6</sup> ♪*Part of your world* は物語の序盤において、人魚姫アリエルがまだ人間の世界がどういうところかはわからないが、いつか行ってみたいという気持ちを歌った楽曲である。

<sup>7</sup> ♪*A Dream is a wish your heart makes* は、継母トレメイン夫人と連れ子姉妹にこき使われているシンデレラが物語の序盤で動物たちに囲まれながら歌う楽曲で、「どんなに苦しい人生でも信じていればいつか夢はかなうもの」と、夢を諦めないことの大切さを説いている。

I said she's gorgeous and I fell

もう恋のとりこ

दिवाना बन गया हूँ मैं

Here in town it's only she, who's as beautiful as me,

だから口説いて 結婚しよう

कैसे जमेगी जोड़ी? मैं हूँ राजा वह रानी

So I'm making plans to woo and marry Belle

ベルは俺のものだから

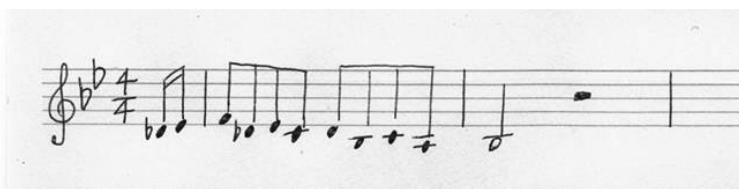
चलो, हो जाए शादी की तैयारी

上記は、楽曲の後半に登場する、町の英雄ガストンの歌唱部分である。非常にナルシストの彼は自らの容姿に見合う美貌をもつベルと結婚すべきだと歌う一節である。

ヒンディー語吹き替え版では **चलो, हो जाए शादी की तैयारी** (さあ、されよう、結婚の準備が) となっているが、本来の語順では **चलो, शादी की तैयारी हो जाए** (さあ、結婚の準備がされよう) という文章になる。先に動詞 **हो जाए** (されよう) が、つづいて後に主語である **शादी की तैयारी** (結婚の準備) がおかれている。意味は、「結婚の準備がされよう」 > 「結婚の準備をしよう」になる。その節を楽譜に起こすと以下ようになる。

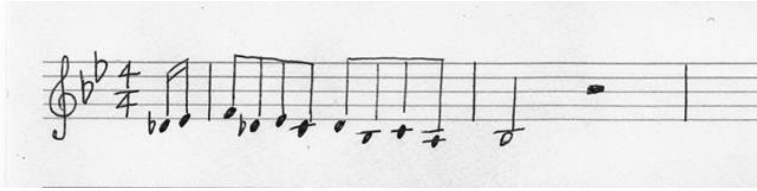
(譜面の調はオリジナル英語版に準ずる)

(1) ヒンディー語吹き替え版の場合



चलो, हो जाए शा दी की तै या री

(2) 一般的な語順の場合



चलो, शादी की तैयारी हो जा ए

単語ごとに音階の流れを見ると(1)の翻訳の場合は **हो जाए (ho jā-e)** ↑↓↑ **शादी (śā-dī)** ↓↑ **तैयारी (tai-yā-rī)** ↑↓↑となり、それぞれ単語の語尾で音階が上がるように当てはめられている。しかし(2)の語順の場合では **शादी (śā-dī)** ↑↓ **तैयारी (tai-yā-rī)** ↓↓↓ **हो जाए (ho jā-e)** ↑↓↑となり、**शादी (śā-dī)**と**तैयारी (tai-yā-rī)**は語尾が下がる形になってしまう。つまり、長母音で終わる単語は、その最後の音節が高い音に対応するよう翻訳されているといえる。他の部分でも、長母音で終わる単語においては同様の現象が見られる。ヒンディー語の語中アクセントの位置については現在でも様々な議論があるが、これについて田中・町田(1986:23)は、

英語のような意味の違いに関わる強弱アクセントはありませんが、原則として、長母音にアクセントがあります。

と述べている。これをふまえると、長母音で終わる単語の最後の音節に高い音に対応するという現象は、アクセントのある位置に高い音をあてているために見られる現象であるといえる。未だ結論の出していない議論であるため予測に過ぎないが、少なくとも先の例では、旋律の高低と単語の強弱アクセントが合うように単語を当てはめることを意識して、翻訳の語順を決めていると考えられる<sup>8</sup>。

---

<sup>8</sup> 旋律の高低と単語の強弱アクセントを合わせることによって、音程をつけずに同じ文章を読む場合と聞こえ方が近くなるため、歌詞が理解されやすくなるのではなかろうか。なお、ヒンディー

一方で例外も存在する。♪*Belle* には長母音で終わる 2 音節以上の単語は全部で 99 単語存在するが、その内最後の長母音が高い音に対応しているのは 55 単語で、対応していないのは 44 単語あった。これだけを見ると対応しているかどうかは半々であり、先の現象の裏付けには必ずしもならない。しかし、対応しない 44 単語には興味深い共通点が見られた。以下、その共通点を考察する。

[A] (♪*Belle* 0分46秒～1分0秒 ベルが町の日常を紹介する部分)

There goes the baker with his tray, like always

いつもと同じパン屋さんが

वह देखो, बेकर डबल रोटियाँ लेकर

The same old bread and rolls to sell

パンを売りに来る

खड़ा है वह हमेशा सा...

Every morning just the same Since the morning that we came

毎朝同じ 顔ぶれだから

अभी तक न कुछ नया जब भी आए हम यहाँ

To this poor provincial town

みんなお馴染み

इस प्यारे-से गांव में

[B] (♪*Belle* 1分10秒～1分24秒 町人がベルの変わった性格を紹介する部分)

Look there she goes, the girl is strange, no question

ごらんあの子はいつでも

यही है वह लड़की जो है निराली

Dazed and distracted, can't you tell?

---

のアクセントについては、Grierson (1895: 139–147) の研究もある。

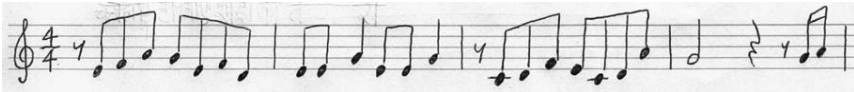


少し風変わり  
खोई है अपनी दुनिया में

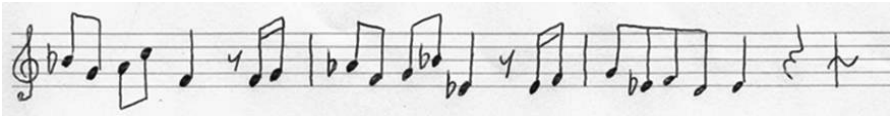
Never part of any crowd 'Cause her head's up on some cloud  
夢見る瞳 空想ばかり  
हमेशा तनहा रहती, नहीं किसीसे मिलती

No denying she's a funny girl, that Belle  
謎めいた子だよ ベルは  
कोई शक नहीं कि वह है पगली-सी

上記の[A]と[B]は、ほぼ同じ旋律にのせられた異なる箇所  
の歌詞である。これを譜面に起こすと以下ようになる。



[A] वह देखो, बे कर डबल रोटी यों ले कर खड़ा है वह हमेशा सा अभी  
There goes the baker with his tray like al---ways the same old bread and roll to sell Every  
[B] यही है वह लडकी जो है निराली खोई है अपनी दुनिया में हमें  
Look there she goes, the girl is strange, no ques--tion Dazed and dis-tracted, can't you tell? Never



[A] तक न कुछनया जबभी आए हम यहाँ इस प्यारे-से गांव में  
Mor--ning just the same, Since the mor-ning that we came to this poor pro--vin--cial town  
[B] शा तनहा रहती, नहीं किसीसे मिलती, कोई शक नहीं कि वह  
Part of a--ny crowd, 'Cause her head's up on some cloud, No denying she's a funny girl, that Belle

旋律はそれぞれ देखो (de-kho), अभी (a-bhī), यही (ya-hī), खोई (kho-ī),  
कोई (ko-ī)が↓↑、निराली (ni-rā-lī)は↑↓↑、दुनिया (du-ni-yā) は↓  
↓↑となり語末の長母音が高くなるよう対応しているが、नया

(na-yā) は↑↓、 रहती (ra-ha-tī)<sup>9</sup>, मिलती (mi-la-tī) については↑↑  
↓となり対応していないのがわかる。そこで、この部分のオリジナル英語版の歌詞を見てみると、

[A] Every morning just the same. Since the morning that we came

[B] Never part of any crowd 'Cause her head's up on some cloud

となっており、same – came, crowd – cloud でそれぞれ韻を踏んでいるが、先ほど述べた旋律がアクセントに対応していない単語とまさに同じ箇所位置している。また नया (nayā) – यहाँ (yahāñ), रहती (rahatī) – मिलती (milatī) でヒンディー語吹き替え版においても押韻を意識しているとみられることから、強弱アクセントに旋律の高低を合わせることも音をそろえることを優先した翻訳と考えられる<sup>10</sup>。

ヒンディー語吹き替え版の押韻に関しては他の楽曲でも見られ、特に顕著に表れているのが ♪*Part of your world* の次の部分である。なお、1990年の日本初公開当時になされた日本語訳は、1997年の再公開時に大幅に変更されたため、この楽曲には2種類の日本語訳があり、現在サウンドトラックやDVD・ブルーレイなどで聴くことができるのはすべて1997年版の新しい歌詞である。本稿では必要に応じて1997年版新日本語訳詞(以下、新歌詞とする)に加えて、1990年版旧日本語訳詞(以下、旧歌詞とする)をも比較対象とする。

(♪*Part of your world* 1分53秒～2分14秒 人魚姫が人間の世界を夢見る場面)

What would I give if I could live outta these waters?

---

<sup>9</sup> ヒンディーの音写では、発音されない潜在母音は a で示した。

<sup>10</sup> ヒンディーの押韻は一般に2音節で踏まれることが多いため、नया(nayā) – यहाँ(yahāñ)のような1音節のみの脚韻は押韻とはいえないが、それを意識したものであると考えられる。

何でもあげるわ ここを出て / 入れたら何でもあげるのに  
क्या मैं करूँ? कब तक रहूँ गहरे पानी में?

What would I pay to spend a day warm on the sand?  
温かい砂の上で眠れたら / 浜辺にいるだけ でもいい  
कुछ भी कर दूँ अगर रह सकूँ वहाँ धूप में

Bet'cha on land they understand  
陸にはいないわ / わたしの宝を  
सब लोग उस पार हैं समझदार

Bet they don't reprimand their daughters  
あんな分からず屋は / ぜんぶあげてもいいわ  
बेटियों की यह बात भी मानें

オリジナル英語版では give-live, pay-day, land-understand とそれぞれ韻を踏んでおり、ヒンディー語吹き替えでも同じ部分で करूँ (karūṁ) - रहूँ (rahūṁ), दूँ (dūṁ) - सकूँ (sakūṁ), पार (pār) - समझदार (samajhadār) と忠実に韻をふんでいる。また非常にゆったりとしたバラード曲である ♪ *A Dream is a wish your heartaches* においても同じ現象が確認できる。

(♪ *A Dream is a wish your heart makes* 0分0秒~0分28秒 シンデレラが夢見ることの大切さを説く場面)

A dream is a wish your heart makes

夢はのぞむこと

सपना है ख्वाहिश बस दिल की

When you're fast asleep

眠りの中

जब तुम नींद में हो

In dreams you will lose your heartaches

悲しみも消える

सपनों में न हम है कोई

Whatever you wish for, you keep

祈り続ければ

माँग सकते हो जो भी चाहो

オリジナル英語版では Heart makes – heartaches, asleep – keep と押韻しているのに対し、ヒンディー語吹き替え版でも同じ個所で दिल की (dil kī)– कोई(koī), में हो(mem ho) – चाहो(cāho)と押韻を意識して翻訳されている。一方で日本語吹き替え版では、『Part of your world』に関しても、『A Dream is a wish your heart makes』でも同部分での押韻は見られない。

先述のようにヒンディー語における強弱アクセントの位置については議論が定まっておらず、吹き替えに一貫した規則性はない。そのため旋律の高低を単語のアクセントに対応させることは完全にはできない。それよりも歌詞にグルーブを生み出す押韻を優先させることには、物語の展開を歌にのせて語るという役割だけでなく、『Belle』の一つの楽曲としての魅力や質を高める効果があると考えられる。

次に、日本語吹き替え版について考察する。日本語吹き替え版を見ると、倒置が起こっているのは78に分けた歌詞のうちわずか5文のみで、ほかの文は日本語の文章としても自然な語順で構成され、語順の入れ替えは特に見られない。また日本語吹き替え版では単語の母音の拍数と音楽上の拍数を対応させることにあまりこだわっていない。たとえば、ベルが楽曲の序盤に町のパン屋さんを紹介する部分であるが、この部分の日本語吹き替え版歌詞を単語ごとに分け、さらに『NHK 日本語発音アクセント辞典 新版』(1998)を参考に標準語アクセントと長さで表すと、

(『Belle』 0分46秒～1分0秒 ベルが町の日常を紹介する部分)

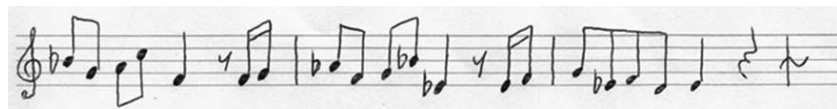
♪♪♪ ♪ ♪♪♪ ♪♪♪♪♪ ♪ ♪♪ ♪ ♪♪ ♪ ♪♪  
いつも と おなじ パン屋さん が パン を 売りに 来る  
↑↓            ↓↑    ↑↓            ↑↓        ↓↑

♪♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪ ♪♪♪♪  
 まいあさ おなじ かおぶれ だから みんな おなじみ  
 ↑↓ ↓↑ ↓↑ ↑↓ ↓↑ ↓↑

となり、拍数はすべて同じである。これを譜面に起こすと以下のようになる。



いつもとおなじ パン やさんが パンを うりにくる まい



あさおなじ かおぶれだから みんなおなじみ

音階に関しては、「いつも」が↓↑↑、「おなじ」が↓↑↓、「パン」が↓↑となり、拍数に関しては「まいあさ」が「まいあーさー」、「かおぶれ」が「かおぶーれー」となり、実際のアクセントや長さや拍数が旋律の拍の長さや音程と対応していないことがわかる。つまり日本語吹き替え版において、語学上のアクセントや音の長さはあまり重要視されていないということである。金田一(1943:247)は自身の論文の中で、「洋楽系統の曲にあつて(ママ)は、その旋律に歌詞のアクセントが考慮に入れられない方が普通」と述べており、今回の分析対象とした♪Belle も海外でつくられた楽曲であるため、アクセントが考慮されずに翻訳されていると考えられる。

以上のことから、日本語吹き替え版では旋律のどの部分にどの歌詞を当てはめるかはヒンディー語吹き替え版に比べると自由であり、旋律と翻訳の間にヒンディー語のような規則性は見られなかった。

## ストーリーと歌詞翻訳

次に『リトル・マーメイド』の挿入歌♪*Part of your world* を主な分析対象とし、作品に登場するキャラクターやストーリーと歌詞翻訳の関係について考察する。

○キャラクターや物語をふまえた翻訳

### ♪*Part of your world*

(1) You want thingamabobs? I've got twenty!

「ねえ、これ欲しい？ 20個もあるの」「これが見たい？ 20個あるの」  
घुंघराले उंगराले इतने सारे

アリエルが沈没船から集めたコルク抜きを友人のフランダールに見せる場面である。オリジナル英語版で歌われている、thingamabobs は名称が不明あるいは思い出せないときに使われる代名詞で、日本語でいう「何かかんとか」にあたるが、日本語吹き替え版では新旧ともに単に「これ」と訳し音数を多く使うことを回避している。対してヒンディー語吹き替え版では、「縮れた、ぐるぐる巻きの」という意味の形容詞 घुंघराला (ghuṅgharālā) を使い、語呂合わせで特に意味のない उंगराला (uṅgarālā) と組み合わせて「ぐるぐる巻きの何か」としている。オリジナル英語版と同様に、用途がわからない道具に対してアリエルが名称をつける様子を描くことで16歳という年相応の無邪気さをあらわしている。

(2) But who cares? No big deal I want more

だけど 足りない 何か / だけど もっと 欲しい  
पर मुझे कुछ और चाहिए

アリエルがこれまで集めてきた陸の世界のコレクションは数多くあるが、彼女はモノを集めるだけでなく実際に自分の目で人間の世界を見てみたいと願っている。そのような気持ちを、オリジナル英語版では But who cares? No big deal I want more 「だからなんだというの？ こんなの大したことない 私にはもっと大きな望みがある」と3文にわたって表現している。旧歌詞とヒンディー語

吹き替え版 (कुछ और चाहिए) はともに「だけどもっと欲しい」という最後の文のみを翻訳しているため、アリエルが数を集めることだけにこだわっているととれる。しかし、新歌詞では「何か」という言葉を使うことによって、旧歌詞とヒンディー語吹き替え版が表現しきれなかったアリエルの複雑な感情をあらわすことに成功しているといえる。

### (3) Up where they stay all day in the sun Wanderin' free

日の光浴びながら 自由に / 花は良い香りが する世界  
सूरज की किरनें गिरती जहाँ, घूमते यूँ ही

この曲の最初のサビにあたる部分で、旧歌詞に注目するとオリジナル英語版ではなかった「花はいい香りがする世界」というフレーズが登場する。これはハンス・クリスティアン・アンデルセンによる原作「人魚姫」の一節をふまえた解釈と思われる。原作の中で、主人公の人魚姫について次のように描かれている。

このひいさまにとって、海の上にある人間の世界の話をきくほど、おおきなよろこびはありません。おばあさまにせがむと、船のことや、町のことや、人間やけもののことや、知っていらっしゃることはなにもかも話してくださいました。とりわけ、ひいさまにとってめずらしくおもわれたのは、海の底ではついにないことなのに、地の上では、お花がにおっているということでした。それと、森がみどり色していて、その森のこずえのなかに、おさかなが、高い、かわいらしい声で歌がうたえて、それがきくひとの耳をたのしくするということでした。その、おばあさまがおさかなとおっしゃったのは、小鳥のことでした。だって、ひいさまたちは、小鳥というものをみたことがないので、そうって話さなければわからないでしょう<sup>11</sup>。

---

<sup>11</sup> 『新訳アンデルセン童話集第一巻』より引用

ひいさまとは主人公の人魚姫、つまりディズニー映画『リトル・マーメイド』におけるアリエルのことで、人魚姫がまだ陸の世界を人からの話でしか聞いたことがなかった頃、海の底では感じることのできない「花の香り」に興味を抱く様子が描かれている。この場面はディズニー映画の中では登場しないため、旧歌詞では花が唐突に登場したように思えるが、原作の童話を踏まえていると分かれば、「花の香り」を楽曲の最も盛り上がるサビに入れた翻訳担当者の強いこだわりが理解できる。

#### (4) What would I pay to spend a day warm on the sand?

温かい砂の上で眠れたら / 浜辺にいるだけ でもいい

कुछ भी कर दूँ अगर रह सकूँ वहाँ धूप में

オリジナル英語版・新歌詞ともに「あたたかい砂」という単語、また旧歌詞では「浜辺」という単語が使われ、冷たい海の底しか知らないアリエルが暖かい陸の世界にあこがれる気持ちを歌う部分であるが、ヒンディー語吹き替えでは अगर रह सकूँ वहाँ धूप में (あちらの日光の下で暮らすことができれば) と धूप (日光) という砂や地面とは関係のない単語を使い暖かい世界を表現している。ヒンディー語辞典で「砂」という意味である बालू や रेत の欄を見ると、बालू का घरौंदा, बालू की भीत, रेत का महल など両単語ともに「儂いもの」、あるいは「当てにならないものを」意味するイディオムにばかり使われているため、アリエルが憧れる暖かみを表現するにはふさわしくないと思われたのではなかろうか。

#### (5) Wouldn't I love, love to explore that shore up above?

陸の 世界の果てまでも / 燃えるって面白いな 陸の

न मानूँगी हार, जाना है मुझको बस उस पार

オリジナル英語版では「上の世界にあがって冒険したい」、新歌詞では「陸の世界の果てまでも行きたい」と自身の希望を述べているのみであるが、ヒンディー語吹き替え版では न मानूँगी हार, जाना है मुझको बस उस पार 「私は屈しない 向こうの世界に行かなければいけない」と英語・日本語に比べて強気な表現がなされている。



楽曲全体を通して比較をすると、この曲を歌唱する時点でアリエルはまだエリック王子に出会っていないため、オリジナル英語版では人間の世界を Part of “that” world とあらわし、なんとなく憧れている状態である。のちに、エリック王子を救出し一目ぼれをしたことで Part of “that” world から Part of “your” World に表現が変わる。それまで家族や故郷を手放すことに感じていた躊躇いは王子に対する恋心によって消えてしまう。このようなアリエルの心境の変化はこの物語における主題であり、(5)のヒンディー語吹き替え版にあるように、まだ恋を知らないアリエルが海を捨てて陸で生きる決心をするにはまだ早すぎると言える。しかし、ヒンディー語吹き替え版はオリジナル英語版の歌詞にある単語をひとつひとつ拾い上げて、なるべく同じタイミングで同じ意味の単語を当てはめようとしており、また英語版で韻を踏む箇所と同じように韻を踏むなど忠実に翻訳をする点には長けている。一方、日本語吹き替え版では物語の展開にも配慮しオリジナル英語版の意図まで読み取ろうという誠意が見え、物語の原作でしか描かれていない場面を取り入れるという独自のこだわりも持っている。

## 2.4 生活文化と歌詞翻訳

最後に、翻訳される国の生活文化が歌詞翻訳にどのような影響を与えているかを考察する。

○インドの食文化に合わせた翻訳

インド独特の食文化に配慮した翻訳を二例挙げる。

(♪*Be our guest* 0分30秒～0分35秒 給仕長が晩餐会のはじまりを告げる場面)

Soup du jour, Hot hors d'oeuvres

スープ・ドゥ・ジュール オードブル

Soup स्वादिष्ट, गरम चाय

Why, we only live to serve

どれもお味は天下一品

क्यों? अभी यह हुई न बार

Soup du jour とはフランス語で本日のスープ、Hot hors d'oeuvres とはあたたかいオードブルという意味である。日本語吹き替え版ではどちらも和訳せずにそのまま音写し、カタカナにしているのに対し、ヒンディー語吹き替え版では Soup du jour を Soup स्वादिष्ट(おいしいスープ)、Hot hors d'oeuvres を गरम चाय(あたたかい紅茶)と大幅に意味を変更している。オードブルをあたたかい紅茶とした理由は、オードブルがインドの人々に馴染みがないからだと考えられる。

(♪Be our guest 0分55秒～1分1秒 料理が次々と登場する場面)

Beef ragout Cheese soufflé Pie and pudding "en flambe"

シチューにスフレ! プリンにソルベ!

आलू साग या पनीर, उसके बाद है मीठी खीर

同様に、フランス料理の名称が並べられる歌詞の部分である。Beef Ragout とはフランス語で牛肉のシチュー、すなわち日本でいうビーフシチューのことで、日本語吹き替え版では単なる「シチュー」と訳し、音の数を減らすことで時間を合わせている。対してヒンディー語吹き替え版では、आलू साग (じゃがいもとほうれん草のカレー)となり、まったくのインド料理に変更された訳がついている。この原因として、インドでは殺生を避けるために菜食主義を守る国民が多く存在し、特に牛肉を食すことはヒन्दू教ではタブーとされていることを配慮したからだと考えられる。

さらに、Cheese soufflé とは、主に主菜もしくはデザートとされる柔らかくて軽い食感のフランス料理だが、日本語吹き替え版ではビーフシチューと同様に「スフレ」と縮めて歌われているのに対し、ヒンディー語吹き替え版では पनीर (カッテージチーズ)と訳されており、同じチーズではあるものの聞くだけでは異なるイメージを持たれかねない。また日本語吹き替え版では、原詩の Pie and pudding に対してはプリンのみが当てはめられており、続いてソルベ(シャーベット)という単語が出てきているが、この部分は原詩では pudding "en flambe"(火で炙りキャラメリゼされたプリン)と歌われており、キャンドルの姿をしたサーバントがプリンを

炙っている様子が画面に映し出されるため、映像と翻訳された歌詞の間にズレが生じている。

○ヒンディー語のことわざを意識した翻訳

(♪*Be our guest* 1分26秒～1分39秒 キャンドルに姿を変えられた給仕長が歌う部分)

If you're stressed, it's fine dining we suggest

ほら、そんな悲しい顔しないで

सोचो न, गरमागरम है खाना

Be our guest! Be our guest! Be our guest!

お客様にようこそ!

जल्दी से खाइए, मेहमान

Life it so unnerving for a servant who's not serving

人生はでもむなしく過ぎていく

चाहिए न मेवा, करना चाहते हैं सेवा

城の主である王子が、他人を見かけで判断した罰として野獣に姿を変えられて以来、城に閉じこもるようになってしまう。そのため、召使いたちも客をもてなす機会を失い、10年間つまらない生活を送っていた。オリジナル英語版では *Life it so unnerving for a servant who's not serving*(お仕えできない召使いの人生なんてつまらない)と歌われているが、ヒンディー語吹き替え版では *चाहिए न मेवा, करना चाहते हैं सेवा* (善果はいらない、お世話をしたい)と訳されている。*मेवा* は果物やナッツなどを意味する単語だが、インドのことわざで、*सेवा करे सो मेवा पावे*(善をなせば善果を得る)がある<sup>12</sup>。オリジナル英語版が *unnerving – serving* と韻を踏んでいるのと同じタイミングで *मेवा(mevā) – सेवा(sevā)* を当てはめると同時に、馴染みのあることわざも連想させることで現地の視聴者により親しみを感じさせる効果を狙っていると考えられる。

---

<sup>12</sup> 古賀勝郎・高橋明 『ヒンディー語＝日本語辞典(2006)』p.1377

○インドの価値観に合わせた翻訳

(♪ *Be our guest* 2分10秒～2分26秒 ポットに姿を変えられたメイドが歌う部分)

It's a guest! It's a guest! Sakes alive well, I'll be blessed

お客様よ うれしいことね

क्योंकि पास मेहमान आ गई है हमारी

Wine's been poured and thank the Lord I've had the napkins freshly pressed

ワインをついでナプキン揃えて

है सब-कुछ साफ़-सुथरा और मैंने napkins प्रेस कर दीं

With dessert, she'll want tea and my dear that's fine with me

デザートにはおいしいお紅茶を

गरम चाय वह माँगी, हाँ तो कोई बात नहीं

ティーポットに姿を変えられたポット夫人がオリジナル英語版・日本語吹き替え版ではワインとナプキンの準備について歌っている部分である。しかし、ヒンディー語吹き替え版では、*है सब-कुछ साफ़-सुथरा और मैंने napkins प्रेस कर दीं* (全部キレイにしてナプキンのアイロンがけもしておいたわ)とワインは登場しない。映像でワインの瓶が大きく描かれているにもかかわらずそれを無視した翻訳であるのは、インドの飲酒文化によるものだと考えられる。インドにおいて特に女性の飲酒が嫌悪されているのは、マヌ法典にまでさかのぼる伝統だという。このように、女性であるベルが飲酒をすることを嫌がる文化のため、あえて「ワイン」という言葉を排除したと考えられる。ストーリー上、ベルは容姿も心も美しい徳の高い女性であり、外見が醜く意地の悪い野獣との対比として必要な配慮であったといえる。

以上の点から、ヒンディー語吹き替え版ではインドの文化や価値観に合うようにオリジナル英語版から変更されている箇所がしばしば存在するが、日本語吹き替え版ではオリジナル英語版の歌詞をなるべく崩さないよう、単語の音数を減らすなどの工夫をしていることがわかる。日本語吹き替え版がなるべく映像に合った自然さを追求する試みは、キャラクターの口の動きに合っている

かどうかという点でも見ることができる。♪*Mother knows best (Reprise)* を例にとって考察する。

○キャラクターの口の動きに合わせた翻訳

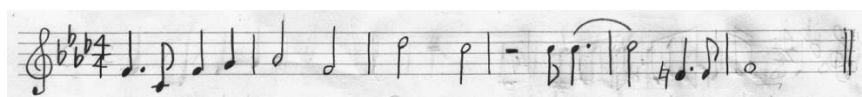
(♪*Mother knows best (Reprise)* 1分51秒～2分5秒 マザー・ゴートルが言うことを聞かない主人公を突き放す場面)

If he's lying, Don't come crying! Mother knows best!

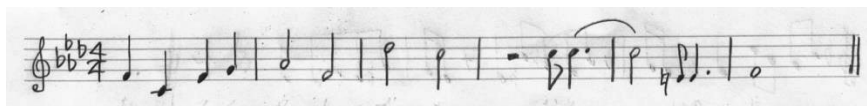
泣いて悔やんでも、遅いのよ!

बेवफ़ा वह निकला तो माँ के पास ना आना। हाँ, माँ सब जानती है

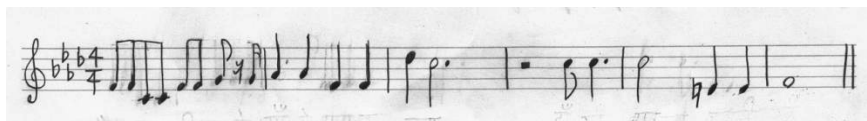
この部分を譜面に起こし、英語とヒンディー語は音節ごとに拍を当てはめて表記すると以下のようなになる。



If he's ly---ing, Don't come cry-----ing! Mo--ther knows be---st!



泣いて悔やんでも、おそいのよ!



बेवफ़ा वह निकला तो माँ के पास न आना हाँ, माँ स--ब जानती है

譜面を見るだけでも、同じ旋律に対して詰め込む音節数はヒンディー語吹き替え版で圧倒的に多いということがわかる。もちろん、映像にうつるキャラクターの口の動きはオリジナル英語版に合わせているため、オリジナル英語版の音節数に近ければ近いほど映像と音声の違和感は軽減できる。特に、上に挙げた場面ではマザー・ゴートルの顔が画面に大きく映るため、もし音節数を無視すれば、映像でのキャラクターはとっくに口を閉じているのに声だ

けが聞こえるという現象が起きることになる。こうした矛盾が発生しないように日本語吹き替え版はなるべくこの音節数を減らすことを意識していると考えられる。

## おわりに

今回分析対象としたのは、既に存在が確認できるヒンディー語吹き替え版の楽曲の中から五曲のみで、もしほかの楽曲も対象にしていたならばまた新たな特徴が見つかる可能性がある。筆者はおよそ6年前から把握できる限りすべてのヒンディー語吹き替え版の音源を集めてきたが、他にもヒンディー語吹き替え版が存在している可能性もあるため、調査対象の幅を広げ、引き続き考察していきたい。

## 参考文献リスト：

### 〈書籍〉

1. 田中敏雄・町田和彦 (1986) 『エクスプレス ヒンディー語』白水社
2. NHK 放送文化研究所 (1998) 『NHK 日本語発音アクセント辞典 新版』NHK 出版
3. 楠山正雄 (訳者) (1955) 『新訳 アンデルセン童話集』3 同和春秋社
4. 古賀勝郎・高橋明 (2006) 『ヒンディー語＝日本語辞典』大修館書店

### 〈論文〉

1. G.A. Grierson (1895) “On the Stress-Accent in the Modern Indo-Aryan Vernaculars.”, *Journal of the Royal Asiatic Society*, 27, pp. 139-147
2. 金田一 春彦 (1943) 「邦楽の旋律と歌詞のアクセント」『田辺先生還暦記念/東亜音楽論叢』 三一書房

### 〈音楽ソフト・歌詞カード〉

1. Disney's super best (1994) Walt Disney RECORDS

2. ソングス・フロム リトル・マーメイドII, リターン・トゥ・ザ・シー & More! (2000), Walt Disney RECORDS
3. ディズニー・ラヴリー・プリンセス～ディズニーのプリンセスたち (1997), ポニーキャニオン
4. 塔の上のラプンツェル オリジナル・サウンドトラック (2011), Walt Disney RECORDS

〈インターネット記事〉 (2017年1月現在)

Beauty and the Beast - Belle (Hindi)

<https://www.youtube.com/watch?v=QG0g6xGV22E>

Beauty and the Beast - Be our guest (Hindi)

<https://www.youtube.com/watch?v=D1OjYqzBdJs>

Mother knows best (reprise) - Hindi (HQ sound)

<https://www.youtube.com/watch?v=jWxzhVbZa8Y>

The Little Mermaid - Part of your world - Hindi

<https://www.youtube.com/watch?v=Z14BZEON-nQ>

Cinderella - A Dream Is A Wish Your Heart Makes (Hindi)

<https://www.youtube.com/watch?v=gtxFtP07s8U>